

1. 新運営委員就任のご報告

2021年7月10日、消化器外科女性医師の活躍を応援する会（AEGIS-Women）総会にて新運営委員を承認いたしました。8月1日より新たな任期がスタートしました。新体制のメンバーを下記の通りです。

野村 幸世	東京大学	会長・総務・国際
河野 恵美子	大阪医科薬科大学	副会長・総務（庶務）・広報
大越 香江	日本バプテスト病院	副会長・総務（会計）・広報・規約
梅澤 昭子	四谷メディカルキューブ	広報・学術教育
小林 美奈子	日本医科大学武蔵小杉病院	学術教育・規約
高須 千絵	徳島大学	広報
長谷川 芙美	土浦協同病院	学術教育
松永 理絵	東邦大学医療センター佐倉病院	広報
大辻 英吾	京都府立医科大学	会計監事

以下五十音順

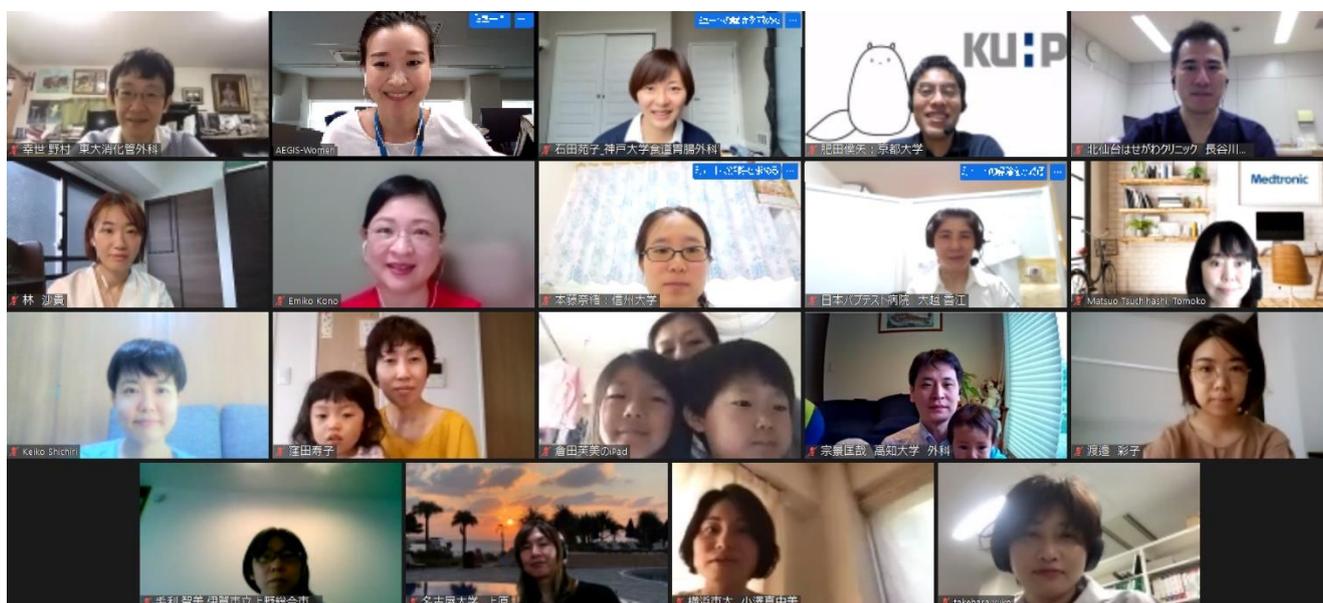
上原 圭	名古屋大学
内山 和久	大阪医科薬科大学
北川 雄光	慶應義塾大学
窪田 寿子	川崎医科大学
島田 光生	徳島大学
瀬戸 泰之	東京大学
松原 久裕	千葉大学
矢永 勝彦	東京慈恵会医科大学
山上 裕機	和歌山県立医科大学
和田 則仁	慶應義塾大学

新運営委員

石田 苑子	神戸大学
-------	------

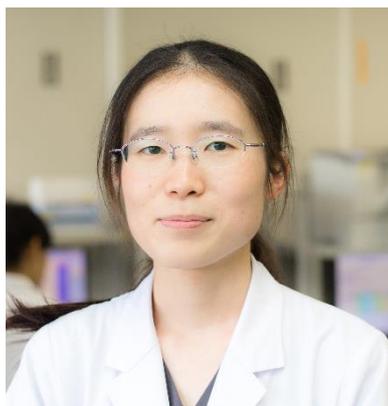
遠藤 格 横浜市立大学
 竹原 裕子 岡山済生会総合病院
 土田 明彦 東京医科大学
 林 沙貴 市立砺波総合病院
 馬場 秀夫 熊本大学大学院
 宗景 匡哉 高知大学

2. 第5回総会（オンライン朝食会@Zoom）のご報告



正会員の出席者26名、委任状28通につき、会則第四章第十二条（1）の総会成立に関する項目を満たしており、野村会長により開会の宣言が行われました。2020年度の会計報告・事業報告および2021年度の予算・事業予定について承認されました。また前述しました通り、新運営委員に関する運営会議の決定をご報告し承認されました。

総会に参加された先生方よりご寄稿をいただきました。



「AEGIS-Women 第5回会員総会に参加して」

信州大学医学部 消化器・移植・小児外科

本藤 奈緒 先生

信州大学消化器外科の本藤奈緒と申します。このたびは AEGIS-Women ニュースレターへの寄稿の機会をいただき、ありがとうございます。7月10日にオンラインで行われた第5回会員総会の参加報告をさせていただきます。

COVID-19の感染拡大により、昨年から多くの学会やセミナーがオンラインやハイブリッド開催となりました。AEGIS-Women のオンライン朝食会も2年目となり、自宅や職場など、様々な場所から参加されていました。オンラインは準備や環境など、まだ慣れないので大変なこともあります。参加しやすさの点ではかなりの恩恵を得ています。私は本年4月から産育休に入っており、京都の現地開催だけだったら、良くて日帰り弾丸ツアーか、それすら都合がつかなければ、演者変更・欠席せざるを得なかったかもしれません。オンライン開催により、自宅にいながら学会総会にも朝食会にも参加することができ、大変ありがたく思います。今回は留学先の海外から参加された先生もおられたのを拝見し、今後の可能性を感じました。感染が落ち着いてからも、オンライン参加もできるよう、ぜひご検討いただきたいと思います。

この AEGIS-Women には、県内の先輩先生からご紹介いただいて入会しました。今までは今後の自分自身の外科医としての生き方や家庭との両立について、先輩の先生方から教えていただきたいと考え、この朝食会や学会の男女共同参画セッションに参加していました。しかし、今回は若い先生方の出席も目立ち、だんだんと自分の学年が上がってきているのを実感し、今度は私の経験が次の誰かのためになればと思うようになりました。今も努力され活躍されている先生方をみるとまだまだ足下にも及びませんが、自分にできることを頑張ろうと決意した朝食会でした。

AEGIS-Women には様々なロールモデルがいらっしゃるのが魅力だと感じています。今後も幅広いジャンルの勉強会を開催していただき、視野を広げていきたいと思ひます。

「総会に参加して」

京都大学 消化管外科 肥田 侯矢 先生



AEGIS-Women 総会に参加させていただき、モリアオガエル飼育に奮闘しているのをお伝えさせていただきました、京都大学の肥田です。子育ては一段落して中高大とひとりずつですが、生き物を飼う、ということで継続の重要性について改めて意識しています。

今回の消化器外科学会では5周年記念イベントで日常から宇宙まで、軌跡と未来を展望したスケールの大きな講演は素晴らしかったと思います。この会が幅広い活動を行ってきて、さらに発展していくのを肌で感じています。総会の「朝食会」がコロナの影響でオンラインになってしまっているのは残念ですが、新規の外科医の参加も増え、家事や育児などと両立しながら外科医として修練をしていく希望が感じられ、この会がよちよち歩きから前に進んでいくのを楽しみにしています。

私の方は京都大学で大腸癌の腹腔鏡・ロボット手術を中心に臨床に携わる傍ら、大学院生15人の臨床研究の指導を行っています。私が臨床研究に取り組んでから約15年になりますが、当時は見向きもされなかった臨床研究が表舞台に立ち、隔世の感があります。臨床研究はしっかり勉強すれば時間と場所を問わず、すきま時間の積み重ねでやっていけます。会員の希望があればカプランマイヤーの書き方、データの取り扱いの基礎などから始めて「外科医が行う臨床研究セミナー」をやってみたいと思っています。また、研修センターに所属して研修医の教育にも携わってきており、「学生・研修医教育」についてもかかわっていきたいと思っています。現在、日本外科教育研究会のプログラム委員をしておりますので、もし外科教育に興味のある先生がおられたら、9月18-19日にオンラインで開催される第8回 Surgical Education Summit にもご参加ください。この分野もまだまだ女性外科医は少数で発展途上です。<http://www.surgicaleducation.jp/>



「 AEGIS-Women 第5回総会への参加と運営委員就任のご挨拶」

岡山済生会総合病院 外科 竹原裕子 先生

岡山済生会総合病院 外科の竹原裕子と申します。8月1日から AEGIS-Women の運営委員を務めさせていただくこととなりました。

今までも、AEGIS-Women には様々な分野・視点からのセミナーが多く、内容も貴重なもので、それを web で視聴できる点を今までもありがたく感じておりました。このたび総会（オンライン朝食会）に参加させていただいて、2020年度の活動報告を拝見し、そのことを再認識いたしました。今回の消化器外科学会では AEGIS-Women のセミナーが学会のひとつのセッションになったことがどれほど有意義なことであるのかを実感しました。

朝食会では、本来であれば参加できない距離・時間を超えてたくさんの先生方の自己紹介のお話をお聞きすることができたことはオンライン開催のメリットだと感じました。その一方で、ぜひ実際にお会いしてもっとお話を聞きたいという気持ちもより強くなりました。この感染症による災禍が1日も早く落ち着くことを祈っています。

今後の AEGIS-Women には、今まで同様に性別を問わない学びの場であり、男女共同参画・働き方改革などについて問題提起だけでなく、理解を深め、解決策を求めていく場であってほしいと期待しています。そして、その裾野がより広く広がっていくことを願っています。

私自身、現在は大腸外科を専門に勉強中で、ロボット手術の助手もさせていただいております。大学院や育児などのブランクがあり、それを埋めるように現在は臨床漬けの生活を送っており、指導してくださる上司・同僚・後輩の先生方に心から感謝しています。

” Pay it Forward ” の精神で、いつかこの感謝の気持ちをたくさんの人に還元していきたいと考えています。微力ながら、AEGIS-Women の活動を通じて誰かの幸せのお手伝いできれば幸いです。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

編集担当：松永理絵 大越香江